

プロフィール（自己PR）

【個人】「中野区に根差したライフスタイル」、「平成生まれ、2児の父」

- ・中野に住み、中野で働き、中野で結婚・子育て、中野を愛する、中野人。
- ・平成生まれの若さが強みで、2児の父でもあり、保護者の視点も持つ。
- ・SDGs認定エドゥケーターやLEGO®認定ファシリテーターの資格も持つ。

【所属】「パラレルキャリア教育者として多面的・多角的に教育を捉える」

- ・中学、高校、大学で教壇に立つ、現役教員（新渡戸文化中高・玉川大学他）
- ・学び続ける現役大学院生（早稲田大学大学院博士後期課程在籍）
- ・中野区で3つの現役会議委員、会議活動（若者、子ども・子育て、環境）
- ・俯瞰的に教育を捉えるNPO法人活動（Learning for All 教育サポーター）

【職歴（直近5年間）】「学校・行政・NPOをフィールドにする多刀流教育者」

- ・中野区 子ども教育部 子ども・子育て会議委員(2024年～現在)
- ・中野区 環境部環境課 中野区環境審議会委員(2024年～現在)
- ・中野区 子ども教育部 育成活動推進課 若者会議(2021年～現在)
- ・玉川大学教育学部教育学科 非常勤講師(2023年～現在)
- ・早稲田大学グローバルエデュケーションセンター TA (2023年～現在)
- ・新渡戸文化中学校・高等学校専任教諭(中学担任・国語科) (2021年～現在)
- ・東京都立新宿高等学校 専任教諭(～2021年)
- ・認定特定非営利活動法人Learning for All サポーター(2019年～現在)

【受賞歴】「中野、東京、全国に認められた教育実践と関わる子どもたち」

- ・第30回コカ・コーラ環境教育賞(活動普及部門) 最優秀賞 受賞(2024年)
- ・第14回ESD(Education for Sustainable Development) 大賞精励賞(2024年)
- ・第1回なかのデコ活コンテスト(デコ活部門) 最優秀賞 受賞(2023年)
- ・第4回 FSC®アワード(中学の部) 最優秀賞 受賞(2023年)
- ・第8回GOOD ACTION アワード 二刀流教員が評価され受賞(2022年)
- ・第69回 読売教育賞(生活科・総合学習部門) 最優秀賞 受賞(2020年)
- ・第21回 東京新聞教育賞(「総合」) 受賞(2019年)

教育委員になった際に取り組む課題（箇条書き）

※優先度の高いものから順に、3項目以内で記入してください。

1.（課題）	確かな学力の定着(R4実績55.6%(H30からR4では約10%減))について	について
その解決方法（箇条書きで簡潔に） ○探究的な学習や体験活動等を通じた「協働的な学び」の充実 （小・中学生の職場体験の充実、修学旅行に代わるスタディツアーの検討） ○ICT、タブレット端末を活用した「個別最適な学び」の充実 （筆者は現在、ICT、タブレット端末を活用した授業の実践者） ○教員が教育活動や授業準備に専念できるようICTの活用等による業務改善や効率化 （Microsoft 365やGoogle Workspace、ロイロノート等） ○探究学習やICT教育に対応できる教員の指導力向上を図る研修の充実 （筆者は渋谷区立中学校2校で「探究」に関わる教員研修の講師経験あり）		
2.（課題）	保幼小中の連携や家庭・地域との連携(R3実績53.9%)について	について
その解決方法（箇条書きで簡潔に） ○15年間を見通した学びの連続性（「カリキュラム連携」等）の推進 ○「（仮称）保幼小中連携サミット」の実施・充実（目的、内容の検討） ○地域と学校の連携・協働による「地域学校協働活動」の推進 ○「中野区コミュニティ・スクール」の推進（持続可能な連携） ○「中野若者会議」との連携（中長期的なプロジェクトでの連携） ○中野区が主催する各種イベントとの連携（連携してイベントへの出展）		
3.（課題）	児童生徒の平日の放課後・土日の居場所等の確保について	について
その解決方法（箇条書きで簡潔に） ○区立学童クラブや区立図書館、文化施設の活用・整備 ○放課後子ども教室推進事業の推進 ○「中野ハイティーン会議」と連携し、中高生自らサードプレイスとなる居場所の構想、連携した実現 （文京区の「b-lab」なども参考にしながら、学習や軽運動、対話やコミュニケーションが取れる多目的空間） ○学校において午後の探究学習の強化(渋谷区でいう探究「シブヤ未来科」) （筆者は渋谷区立中学校2校で「探究」に関わる教員研修の講師経験あり）		

教育委員に応募する理由（横書きで記入してください）

私は、地方から中野へ移住し、学生時代を経て結婚し、現在2児の父でもあります。また、中野区の中学校で学級担任と国語の授業を担当しています。中野に住み、中野で働く中野人として、保護者や教員という立場から教育に向き合っています。区外でも、早稲田大学大学院(博士後期課程)に在籍し、玉川大学の教員養成課程では4つの講座を担当しております。関わるNPOでは、子どもの貧困にも向き合ってきました。近年では、中野区で3つの委員や会議での活動に加え、渋谷区立小中の探究「シブヤ未来科」に関わる教員研修講師を務めるなど、中野区の内外に渡って教育に携わることで、「現在・未来の子ども達のために中野区の教育をより良くしたい」との想いが強くなってきました。

中野には「人・想い・未来」が詰まった素晴らしい教育資源があります。学校と地域が連携して「一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む」教育のため尽力します。